

# 地域医療研修



公立大学法人  
**横浜市立大学**  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

横浜市立大学附属病院  
横浜市立大学附属市民総合医療センター

# 目 次

<b>I</b>	<b>地域医療研修 実施要項</b>	<b>1</b>
<b>II</b>	<b>地域医療研修における注意点</b>	<b>3</b>
<b>III</b>	<b>協力施設の概要</b>	<b>4</b>
1	横浜市総合保健医療センター	4
2	横浜掖済会病院	6
3	湘南中央病院	8
4	湘南ホスピタル	10
5	三浦市立病院	12
6	富良野協会病院	14
7	松前町立松前病院	16
8	公立相馬総合病院	18
9	遠山病院	20
10	那智勝浦町立温泉病院	22
11	高知県 病院群	24
12	平戸市民病院	30
13	柿添病院	32
14	青洲会病院	34
15	出水郡医師会広域医療センター	35
16	済生会若草病院	37
17	宮古島徳洲会病院	38
18	横浜市寿町健康福祉交流センター診療所	39
<b>IV</b>	<b>地域医療研修中の待遇について</b>	<b>40</b>



## I

## 地域医療研修 実施要項

## 研修方針

地域医療研修は研修 2 年目に 4 週以上、協力施設（地域の病院、診療所）において実施し、中小病院・診療所、へき地・離島診療所等の地域医療の現場を経験する。

## 研修目標

医療を必要とする患者とその家族に対して質の高い医療を提供できる医師となるために、患者が営む日常生活や居住する地域の特性を把握しようとする態度を身につけ、医療を提供する場である病院や診療所等の役割や医師と患者の関係を理解し、患者中心の医療が実践できる基本的能力を習得する。

## 行動目標

以下の行動目標の中から協力施設の特徴に応じたものを選択し研修する

- (1) 外来または病棟診療：地域における全人的診療について実践的に学ぶ
  - 1) 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる
  - 2) 頻度の高い慢性疾患患者に対する生活指導ができる
  - 3) かかりつけ医の役割を述べることができる
  - 4) 専門医への適切なコンサルテーションができる
  - 5) 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し対処できる
  - 6) 横浜市の個人情報保護条例を理解し、プライバシーに配慮して活動できる
- (2) 在宅医療：在宅医療の意義、患者の家族や周辺状況を含めた医療について習得する
  - 1) 訪問診療に必要な医療器具、薬剤を準備できる
  - 2) 介護者に対して医療人が配慮すべき事項について説明できる
  - 3) 患者をとりまく家族環境、住宅環境について注意すべき事項を説明できる
  - 4) 訪問看護の役割を理解し、訪問看護師と共に活動できる
  - 5) 在宅患者の入院のタイミング、搬送方法について説明できる
  - 6) 家で死を迎えようとする患者や家族の健康観、死生観、宗教観を把握することの重要性について説明できる
- (3) 予防医療：予防医療の意義を理解し、患者指導の実際を学ぶ
  - 1) 健康増進に必要な患者教育（食事、運動、休養、禁煙）ができる
  - 2) 性感染症予防、家族計画を計画できる
  - 3) 予防接種を実施できる

- 1) 医療機関との連携に必要な書類等の手続きについて説明できる
- 2) 以下の文書の必要性を理解し、作成できる

各種診断書（死亡診断書など）、各種指示書（訪問看護指示書など）

## 研修施設

横浜市総合保健医療センター、横浜掖済会病院、湘南中央病院、湘南ホスピタル、三浦市立病院、富良野協会病院、松前町立松前病院、公立相馬総合病院、遠山病院、那智勝浦町立温泉病院、高知県 病院群、平戸市民病院、柿添病院、青洲会病院、出水郡医師会広域医療センター、済生会若草病院、宮古島徳洲会病院、横浜市寿町健康福祉交流センター診療所

## 指導体制

大学責任者

附属病院：稲森 正彦（臨床研修センター長）

附属市民総合医療センター：平和 伸仁（臨床教育研修センター長）

協力施設責任者

各病院・施設の病院長・施設長

## 評価方法

研修医の自己評価：原則として EPOC2 を用いるが、オンラインでの入力が困難な場合は臨床研修センターが作成した研修評価表（EPOC2 の評価項目と同じ）に記入する。

各施設が独自の評価を行う場合は、評価の写しを研修終了後に臨床研修センターに提出する。

## Ⅱ

## 地域医療研修における注意点

## 1 自己紹介票

研修開始の前月に自己紹介票のファイル（Excel または PDF）を協力施設にメールで送ります。  
 研修開始の **2 週間前まで** に必要事項を記入して下記にご提出ください。  
 附 属 病 院：rinsho\_c@yokohama-cu.ac.jp 又は臨床研修センターもしくは人事担当窓口  
 センター病院：kkensyu@yokohama-cu.ac.jp 又は人事担当窓口

## 2 研修期間

原則として、**4 週間の単位で研修**。※研修開始前にオリエンテーションがある協力施設もあります。  
 なお、遠方の協力施設への移動日（往復とも）は原則年次休暇扱いとなります。

## 3 研修中の休日

土日祝日休みを原則としますが、土曜日の勤務がある協力施設もあります。  
**6 月～9 月に地域医療研修となる場合、地域医療研修期間中は夏季休暇を取得することは極力避けてください。**  
 時間外の超過勤務に関しては、研修先へご確認ください。

## 4 給与の支給

基本給は大学病院から、当直代は協力施設から支給されます（当直の有無は施設により異なります）。

## 5 交通費

自宅又は宿舎～病院：通勤届を提出してください。  
 遠方施設への往復：往復分（1 回）を大学から支給します。

## 【飛行機利用の場合の注意事項】

立て替え払いとなります。研修終了後、下記を必ず提出してください。なお、寄り道は認められません。

## ①領収証（宛名は研修者本人） ②搭乗半券

※搭乗半券については利用会社によって窓口発行になる場合があります。詳細はメールで周知しますので、必ず確認してください。

※搭乗半券を紛失した場合は、**搭乗証明書及び理由書**を提出してください。

※ classJ（JAL）、プレミアム搭乗券（ANA）などを利用した場合は、普通料金相当分のみを支給します。その場合、加算料金を含まない領収証を提出するか、差額を自己申告してください。

※ネット予約の場合、支払方法によってはネット上で領収証や搭乗証明の発行ができない場合があります。

## 6 宿舎と経費

協力施設によって事前の手続きが異なります。各施設の説明を参照してください。

## 7 保険医登録の異動届 ※神奈川県外で 2 ターム以上研修をする場合、必要

**出発の 3 日前までに** 次の書類等を準備のうえ、附属病院（人事担当）またはセンター病院（人事担当）で手続きを行ってください。

①保険医登録票原本

②届出書類

## 8 研修にあたって必要なもの

①健康保険証	②銀行口座番号の控え（当直を行った際の支払い用に必要）
③印鑑	④職員証（身分証代わりになります）
⑤診療に必要なもの（聴診器・白衣・靴など）	⑥研修評価票（指導医に渡して評価してもらいます）
⑦研修手帳	

## 9 その他

※医師賠償責任保険に加入済みですか。未加入の場合は研修開始前に臨床研修センターに相談してください。

※ HBV、麻疹、風疹、水痘、ムンプスに対する抗体の有無を確認してください。

抗体の有無が不明の場合は、臨床研修センターに問い合わせ、確認してください。

# Ⅲ-1

# 横浜市総合保健医療センター

研修責任者	センター長 塩崎 一昌
研修担当者	川越 泰子
連絡先	電話 045-475-0001 FAX 045-475-0002
住所	〒 222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1735
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JR 横浜線、新幹線、相鉄・東急新横浜線、市営地下鉄線新横浜駅から徒歩10分</li> <li>• 新横浜駅から市営バス96系統「浜鳥橋」下車徒歩1分</li> <li>• 第三京浜港北インターチェンジから車で約5分</li> </ul> 
その他	2F に食堂あり
研修開始前に必要な手続き	研修初日 8 時 30 分に医局に集合
持参するもの	白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー、印鑑
研修期間	4 週 4～6 月、9 月～2 月のうちのいずれか 2 人／月×1 ヶ月
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 老健施設：通所リハビリ、介護など</li> <li>2) 有床診療所：病棟研修、認知症の鑑別外来</li> <li>3) 地域精神：施設研修（デイケア、生活訓練、就労援助など）</li> </ol> <p>研修計画の例</p> <p>初 日 オリエンテーション</p> <p>2 日目～ 認知症外来、訪問看護、地域精神保健施設研修、通所リハビリ・老健見学、認知症初期集中支援チームの会議参加、地域連携会議参加など</p> <p>最終日 研修責任者及び研修担当者による評価</p>

指導医より	こんな研修医に来て欲しい：高齢者の医療、精神科に興味がある研修医に役立つ研修を提供できます。他分野を選択する研修医にとっても、大学では経験できない研修が可能となると思います。積極的に質問し、一緒に働ける研修医を待っています。
研修医の感想	横浜市総合保健医療センターでは、精神科を主に扱っていて、外来では認知症の評価と鑑別のため、問診を取りました。その他には、精神科で通院している方の就業支援生活訓練、再就職支援など多職種の活動を学びました。施設内でこれらの多職種が連携を取り、患者さんの生活を支援する様子は、研修病院では見ることが出来なので、とても勉強になりました。程よいスケジュールで研修できたところも良かったです。
施設案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆精神障害者支援部門 (精神科デイケア・生活訓練・就労訓練・就労支援センター)</li> <li>◆介護老人保健施設(しらさぎ苑) 80 床 (認知症専門棟 30 床・一般棟 50 床・通所リハビリテーション)</li> <li>◆診療所 医療病床 7 床 内科・認知症診断外来・認知症外来 特定健康診査・横浜市健康診査</li> <li>◆介護医療院 12 床</li> <li>◆訪問看護ステーション「みんなのつばさ」</li> <li>◆港北区生活支援センター</li> </ul>





研修責任者	病院長 内藤 実																		
研修担当者	副院長 竹村 佐千哉																		
事務担当者	事務部 和田 拓磨																		
連絡先	電話 045-261-8191 E-mail y-ekisk@snow.ocn.ne.jp																		
住所	〒 231-0036 神奈川県横浜市中区山田町 1-2																		
アクセス	JR 関内駅および石川町駅 徒歩 10 分 市営地下鉄伊勢佐木長者町駅 (南口山田町方面下車) 徒歩 3 分																		
																			
その他	駐車場なし																		
研修開始前に必要な手続き	研修開始日の 10 日ほど前の平日午後に和田職員に電話し、当日の来院時間や持ち物等を確認																		
持参するもの	履歴書 (写真付き)、白衣、医師免許証と保険医登録票のコピー、印鑑																		
研修期間	1 ターム～2 ターム (原則 1 ターム) 3, 4, 7～10 ターム 1 回 2 名 合計 14 名受け入れ																		
研修内容	内科 (消化器内科・血液内科・一般内科) 外科 (消化器外科)、整形外科、眼科での外来・検査研修。 内視鏡室・超音波室での実地研修。 希望あれば手術室・麻酔科研修。 併設の介護老人保健施設研修。 (各自の希望を取り入れて研修プログラムを作成します。)																		
	研修プログラムの例 (1)																		
	<table><tr><th>時間 \ 曜日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr><tr><td>午前 (9:00～12:00)</td><td>麻酔科</td><td>内科外来</td><td>眼科外来</td><td>麻酔科</td><td>内視鏡 超音波</td></tr><tr><td>午後 (13:00～17:00)</td><td>麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)</td><td>麻酔科 (外科手術) (呼吸器内科) 地域健康 プロジェクト 7/28</td><td><div>7/1 13:30 事務部・病院案内</div><div>眼科手術 7/8・15・22</div><div>7/29 13:30 院長室</div></td><td>麻酔科</td><td>病棟</td></tr></table>	時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	午前 (9:00～12:00)	麻酔科	内科外来	眼科外来	麻酔科	内視鏡 超音波	午後 (13:00～17:00)	麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)	麻酔科 (外科手術) (呼吸器内科) 地域健康 プロジェクト 7/28	<div>7/1 13:30 事務部・病院案内</div> <div>眼科手術 7/8・15・22</div> <div>7/29 13:30 院長室</div>	麻酔科	病棟
時間 \ 曜日	月	火	水	木	金														
午前 (9:00～12:00)	麻酔科	内科外来	眼科外来	麻酔科	内視鏡 超音波														
午後 (13:00～17:00)	麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)	麻酔科 (外科手術) (呼吸器内科) 地域健康 プロジェクト 7/28	<div>7/1 13:30 事務部・病院案内</div> <div>眼科手術 7/8・15・22</div> <div>7/29 13:30 院長室</div>	麻酔科	病棟														



## 研修内容

## 研修プログラムの例 (2)

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金
午前 (9:00～12:00)	内視鏡 超音波	整形外科外来	超音波	麻酔科	内科外来
午後 (13:00～17:00)	麻酔科 7/6 老健 7/13・27 (14:00～16:00)	呼吸器内科外来 7/7・14・21 地域健康 プロジェクト 7/28	<div>7/1 13:30</div> <div>〔事務部・病院案内〕</div> <div>眼科手術</div> <div>7/8・15・22</div> <div>7/29 13:30</div> <div>〔院長室〕</div>	麻酔科	病棟

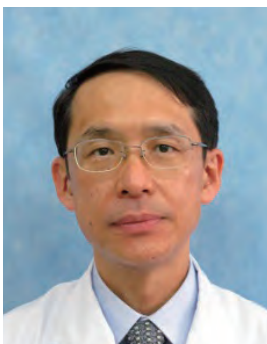
研修医から  
ひとこと

## (1)

- ・内視鏡とエコーを実際に研修することができて貴重な経験でした。
- ・大学では出来ないような手術・手技を研修させてもらえます。
- ・外科では胆摘、ヘルニアの手術に入らせていただきました。内科ではGF・USを指導医がマンツーマンで指導してくれ、実際に施行させてもらえます。
- ・特に科を決めるわけではないので、いくつもの科を研修できる上、忙し過ぎるということはありません。
- ・どこに行ってもやさしく迎えてくれます。
- ・研修医室があるので落ち着けるスペースもあります。

## (2)

大学病院で選択しなかった眼科、整形外科を研修させていただきました。高齢者に多い白内障や緑内障、骨粗鬆症とそれに伴う圧迫骨折の患者様を実際に診察することができ、多くのことを学びました。指導医と一緒に外来にいて、その場で質問ができ、また教科書で確認しながら診察することで実践的な知識や技術が習得できたと思います。眼科外来では静的視野検査と角膜内皮細胞検査を実際に体験しました。指導医の先生はもちろん多くのスタッフにお世話になりました。改めて感謝いたします。



病院長 内藤 実 先生



副院長 竹村 佐千哉 先生



病院外観写真



# 湘南中央病院

研修責任者	病院長 池田 全良												
事務担当者	事務部長 麻生 武伸												
連絡先	電話 0466-35-1801 FAX 0466-35-2886 E-mail shonan-regtr@swg.or.jp												
住所	〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥 1-3-43												
アクセス	<div> JR 東海道本線、辻堂駅下車  北口より徒歩 10 分 </div> <div> </div>												
その他	車通勤 不可 休日：土曜日、日・祝日、当直有												
研修開始前に必要な手続き	初日 8 時 30 分 病院 2 階総務課 ※研修医ご本人より、開始 1 週間前までに総務（地域医療研修担当）までお電話ください												
持参するもの	白衣、医師免許証と保険医登録票の原本、印鑑												
研修期間	4 週												
病院紹介	<table border="1"> <tr> <td>急性期病棟</td><td>52 床</td></tr> <tr> <td>地域包括ケア病棟</td><td>52 床</td></tr> <tr> <td>回復期リハビリテーション病棟</td><td>36 床</td></tr> <tr> <td>緩和ケア病棟</td><td>16 床</td></tr> <tr> <td>療養病棟</td><td>43 床</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>199 床</td></tr> </table> <b>【診療科目】</b> 内科、外科、整形外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、精神科、心療内科、肛門外科、皮膚科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、緩和ケア内科、腎臓内科（人工透析）、糖尿病内科、内分泌内科、（救急・労災指定 各種保険取扱）	急性期病棟	52 床	地域包括ケア病棟	52 床	回復期リハビリテーション病棟	36 床	緩和ケア病棟	16 床	療養病棟	43 床	合 計	199 床
急性期病棟	52 床												
地域包括ケア病棟	52 床												
回復期リハビリテーション病棟	36 床												
緩和ケア病棟	16 床												
療養病棟	43 床												
合 計	199 床												
研修内容	在宅診療・緩和ケア診療、緩和ケア病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟の研修を通して地域医療を学ぶ												

指導医より	こんな研修医に来て欲しい：地域医療や緩和ケアに興味がある先生
病院の特徴と研修の理念	急性期病床、回復期病床、療養病床、緩和ケア病床で研修することができ、往診・訪問看護、在宅医療の体験もできます。この中で地域のニーズに応える地域医療を研修してください。プライマリ・ケア医師は医療・福祉制度におけるコーディネーターの役割も果たさなくてはなりません。それぞれの施設の特徴を理解し、短期間ではありますが、医療スタッフとともに働いてほしいと思います。



池田 全良 院長



湘南中央病院外観



地域包括ケア病棟カンファレンス風景



緩和ケア病棟カンファレンス風景



在宅診療科スタッフ



リハビリセンター風景



### Ⅲ-4

## 湘南ホスピタル

研修責任者	病院長 木原明子
研修担当者	病院長 木原明子
事務担当者	事務部長 有泉義一
連絡先	電話 0466-33-5111（湘南ホスピタル） FAX 0466-36-5116
住所	〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂 3-10-2
アクセス	<p>J R東海道線辻堂駅南口 交番前入り徒歩7分</p> 
その他	車通勤不可 土日祝日休み、当直なし
宿舎	なし
研修開始前に必要な手続き	事前に事務担当者にご連絡ください。必要な案内をいたします。 初日は8時に病院正面受付に集合。
持参するもの	医師免許証・保険医登録票・健康診断書の写し
研修期間	4 週
研修内容	地域包括ケア病床・医療療養病床から、在宅医療までのつながりを理解する。 多職種による退院支援カンファレンスを経験する。 外来診療、訪問診療、往診を通じて地域医療を学ぶ。
研修・診療方針	〈当院の理念〉 人を暖かく迎える医療～地域の健康の守り手・高齢者を支える医療・心を大切にする医療
病院の概要	<p>地域包括ケア病床 44 床・医療療養病床 60 床</p> <p>診療科 内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科・精神科・リハビリテーション・糖尿病内科・ 内分泌内科・整形外科外来</p> <p>併 設 訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所</p>





研修責任者	総病院長 小澤 幸弘
研修担当者	診療部長 木谷 勇一
事務担当者	総務課 齋藤
連絡先	電話 046-882-2111 (代表) FAX 046-881-7527 E-mail byouin0101@city.miura.kanagawa.jp
住所	〒238-0222 神奈川県三浦市岬陽町4番33号
アクセス	京浜急行三崎口よりバス（2番乗り場）より10分 米町下車徒歩8分 タクシー15分
その他	週1回程度の当直あり。 休日：土曜日、日曜日、祝日 車通勤：可 駐車場あり
研修開始前に必要な手続き	初日8時医局に集合
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、研修評価表、健康保険証、マイナンバーカードもしくは通知カード、運転免許証、印鑑、金融機関通帳の写し、診療に必要なもの（病院の名札、白衣、聴診器、仕事用の靴など）
宿舎	宿舎を希望する場合は、研修初日の2週間前までに連絡が必要
研修期間	6月～2月の4週～8週
研修内容	指導医とともに「三浦ならではの」の地域医療を研修できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来患者及び入院患者の診療</li> <li>・救急外来診療</li> <li>・健診外来・予防接種外来業務</li> <li>・在宅医療</li> <li>・夜間救急診療</li> </ul> * 幅広く地域医療が体験できるよう、研修指導責任者が、みなさんの希望を取り入れた研修予定表を作成します。



「三浦ならではの医療をつくっていききたい」という  
小澤幸弘総病院長



三崎港を臨む高台にあり、眼下には豊かな緑が広がる三浦市立病院



## 病院紹介

当院は、三浦半島の最南端に位置する三浦市唯一の急性期病院です。かつては、まぐろの水揚げ日本一の三崎港でしたが、現在人口減少とともに高齢化が進んでおり、病院の役割も変化してきています。そこで、三浦市立病院は、「三浦ならでは」の医療を目指し、医療・福祉・保健の一体化をすすめ、地域医療の確立をめざしています。

## 施設紹介

病床数	136 床
診療科名	内科・神経内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・麻酔科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科
階数	地下1階・階上4階
構造	鉄筋コンクリート造（免震構造）、ヘリポート併設
指定	救急告示病院
その他	健康診断・人間ドック・脳ドック・予防医療 地域医療科による医療連携・医療相談・訪問診療業務を実施

## 三浦ならではの地域医療とは

## ＜医療（診療体制）＞

- ・総合医療の実践

それぞれの医師の専門分野を生かしつつ、総合医としての役割を担っています。

- ・医療施設との連携強化

当院で行える医療には限界があります。そこで、当院で完結できない場合は、横須賀の中核病院や横浜市立大学との連携を強化し、継続した医療提供できるよう努めています。

## ＜福祉＞

- ・地域密着型医療の確立を目指しています。

当院を核として市内診療所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム・有料老人ホームなどの介護施設、市保健福祉部など、医療・介護の関連機関と密接に連携する「地域密着型」をめざしています。

- ・在宅医療の充実を目指しています。

平成22年5月1日より在宅支援病院として、平成24年4月1日からは機能強化型在宅療養支援病院として、すでにいくつかの連携の事例も実績としてあげつつあります。

## ＜保健＞

- ・市民の健康を守る取り組みを行っています。

当院の検査科を三浦市の中央ラボとして機能させ、三浦市民の健康データバンクを作り、それらを疾病予防に活用しています。また、積極的に健診事業を実施しています。

\* 地域医療再生を実践している小さな公立病院である三浦市立病院の「三浦ならでは」の医療を経験してみませんか？

研修スケジュール  
(例)

		月	火	水	木	金
週間	AM	オリエンテーション 病棟・救急	病棟・救急 * EGD 検査	病棟・救急 腹部エコー	病棟・救急	健診外来 救急外来
	PM	外科手術*麻酔管理 *胃瘻・胃管交換	訪問診療 * CS 検査	外科手術 褥瘡回診 *心臓エコー	訪問診療 *検体検査	カンファレンス * ICT ミーティング 面接・評価

\*はオプションの研修内容

研修責任者	病院長 小山内 裕昭
研修担当者	副院長 角谷 不二雄 (f768fk@furano.ne.jp)
事務担当者	菅原 昭洋 (fkhsoumu@wine.ocn.ne.jp)
連絡先	電話 0167-23-2181 FAX 0167-22-4256
住所	〒076-8765 北海道富良野市住吉町1番30号
アクセス	旭川空港より空港バスで1時間 富良野駅前下車徒歩5分 
その他	病院内でインターネット使用可能
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、銀行の口座番号、研修評価表
宿舎	2LDK（トイレ、ユニットバス）、水道光熱費の負担なし 布団、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ無料貸し出し （食事は個人負担、その他は原則として個人負担なし） ※荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院へ連絡し病院宛に発送
研修期間	2年次4週～8週 希望により延長可
研修内容	救急医療から終末期医療、新生児から老人まであらゆる分野の研修が可能
施設の紹介	当院は、富良野二次医療圏の地域センター病院に指定された圏域唯一の総合病院であり、時間外救急医療の場合は当院に一元化されています。そのため偏りのないさまざまな病態の診療を経験することができます。各科の壁がなく、幅広い視野からの診療を経験でき、プライマリーケアの習得には最適と言えます。
研修医の感想	容易には他科コンサルトができない環境で全身管理をする機会が多く、総合力が養われました。ERでは帰宅、入院の是非だけでなく、他院へ搬送が必要かどうかの判断も必要となり、ファーストタッチでの診察能力が向上した様に思います。上級医の先生方の指導が手厚いです。





研修医によるBLS講習



研修責任者	院長 八木田 一雄
研修担当者	副院長 保脇 雄介
事務担当者	係長 佐々木 俊典 (toshinori.sasaki@town.matsumae.hokkaido.jp)
連絡先	松前町立松前病院 事務局 佐々木係長 電話 0139-42-2515 E-mail toshinori.sasaki@town.matsumae.hokkaido.jp
住所	〒049-1503 北海道松前郡松前町字大磯 174-1
アクセス	函館空港または函館駅から送迎します（それぞれ 105 キロと 95 キロ、車で 2 時間）
その他	宿舎無料。3 食無料。インターネットは院内・宿舎共にアクセス可能。
必要な手続き	医師免許証、保険医登録票、履歴書。1 ヶ月前までにメールを事務まで。
持参するもの	パソコンがあると便利です。健康保険証。印鑑。もちろん白衣と聴診器。上履き。
研修期間	2 年次 4 週～ 12 週。
研修内容	<p>【是非松前に！】</p> <p>北海道最南端の松前町で、地域医療を体験してみませんか？ 函館の中心部から 95 キロ離れた松前町は、江戸時代からの城下町です。人口 7,000 人。心温かい住民が皆さんをお迎えします！ 自然に恵まれ、気候は春から秋は温暖なよいところです（冬は風が強めです。日本海側ですの）。海の幸も大変美味です（ウニ、アワビ等）。</p> <p>【スタッフはジェネラリスト】</p> <p>松前病院のスタッフ医師は「全科診療医」4 名。皆、幅広く診療する総合診療医です。</p> <p>【地域で唯一の入院施設】</p> <p>松前病院は松前町と隣の福島町で唯一の入院施設です。診療圏は約 1 万 4 千人。病床は一般病床 93 床。24 時間 365 日患者を受け入れています。</p> <p>【教育を重視】</p> <p>卒前卒後教育も重要な任務です。松前病院では、年間に医学生約 20 名、初期研修医約 20 名が実習や研修に訪れます。</p> <p>【豊富なカンファレンス】</p> <p>火曜から金曜日まで朝 7 時半から各種カンファレンスの他、札幌医科大学地域医療総合医学講座の教授を 20 年務めた後、当院管理者へ就任された山本管理者による「Dr.WARI の総合診療 skill-up 講座」があります。（別表）。</p> <p>【インターネットで全国をつないで学習会！】</p> <p>松前病院と札幌医大地域医療総合医学講座が中心となり、毎週水曜と木曜の朝、インターネットで全国をつないで学習会をしています。水曜日の『プライマリ・ケアカンファレンス』は持ち回りで全国の症例を皆で共有します。木曜日の『プライマリ・ケアレクチャーシリーズ』はプライマリ・ケアに関連する講義を全国の参加者が持ち回りでやっています。毎回 100 を超える施設が参加しています。</p>



インターネット上での学習会の例



インターネットで行なっている学習会の様子



カンファレンスの様子



## 研修内容

## 【研修内容】

病棟研修（数名の患者を指導医と共に受け持ちます）

外来研修（内科外来・外科外来を見学します）

救急医療（救急患者の対応に当たります）

訪問診療（指導医と共に）

老人ホーム回診（同）

へき地診療所での診療（同）

松前を食べる実習（必修。三久本店「松前浜ちゃんぽん」、蝦夷寿司「生ちらし」「特上にぎり」

釣り（オプション。9～11月の小アジ釣り。）

土日等の休日を利用した北海道・東北観光（函館市・札幌市・青森市・仙台市など）

## 〈勉強会など〉

	月	火	水	木	金
07:30～08:00	—		プライマリ・ケア カンファレンス	プライマリ・ケア レクチャー	入院 カンファレンス
08:00～08:30	医局ミーティング、 朝礼	Dr.WARI の総合診療 skill-up 講座			



松前病院



江良（えら）診療所



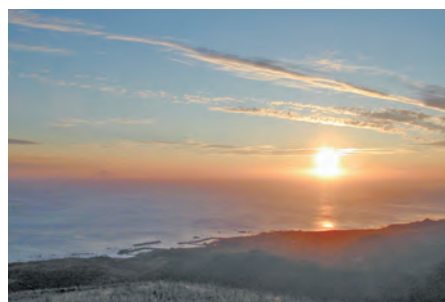
桜とメジロ。松前には野鳥も沢山います！



おくむら食堂での実習



松前町中心部を見下ろす



ガンビ岱からの夕日



時には院長宅で飲み会も

研修責任者	病院長 八巻 英郎
研修担当者	副院長（プログラム責任者）伊藤 正樹
事務担当者	総務課 水戸 昭宏
連絡先	電話 0244-36-5101 FAX 0244-35-5819 E-mail sghjim11@bb.soma.or.jp
住所	〒976-0011 福島県相馬市新沼字坪ヶ迫 142
アクセス	<p>JR 相馬駅より徒歩 10 分 タクシーで 5 分</p> 
宿舎	当院で借り上げた賃貸住宅（全額病院負担）
研修開始前に必要な手続き	事務担当者へメール、ご相談
持参するもの	白衣、聴診器、名札、医師免許証と保険医登録票のコピー、履歴書、印鑑、健康保険証、マイナンバーカード
研修期間	4 週 1 回 1 名 研修時期については、別途相談します。
研修内容	主に内科（循環器科、消化器科）、小児科、外科にて、研修医の希望を取り入れながら研修を行います。
指導医より	小さな病院ではありますが、町に一つの総合病院である当院は、医療圏人口 4 万人の健康のすべてを預かっているといっても過言ではありません。基本的な知識や技術はもちろんですが、研修医の先生方にぜひ学んでいただきたいのは、地域の医療を支えるというのは実際にどういうことなのかということと、少ない医療資源の中でそれを頑張って行っている医療従事者としての矜持です。小さい病院だからこそその大病院にはない指導医と研修医との密接な関係での研修をお約束します。
その他	当院は平成 24 年 9 月に基幹型臨床研修病院に指定された臨床研修では歴史の浅い病院です。現在では 2 年目 3 名、1 年目 3 名の研修医が当院で研修を行っています。





外観南東面



内視鏡検査



気管挿管

研修責任者	病院長 井上 靖浩
研修担当者	内科部長（医局長） 小西 克尚
事務担当者	庶務課 小川 愛（syomu@toyama-hp.or.jp）
連絡先	電話 059-227-6171
住所	〒514-0043 三重県津市南新町 17 - 22
アクセス	新横浜から津新町まで約 2 時間 30 分 名古屋で近鉄名古屋に乗り換え津新町下車徒歩 5 分
その他	隔週土曜日の勤務あり 4 週 8 休を原則とする。 宿舎には駐車場はありません。 病院内では医師用 PC でインターネット使用可能
研修開始前に必要な手続き	研修初日 1 週間程前に、庶務課まで電話連絡をしてください。
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、銀行の口座番号、個人番号が確認できるもの、身分証明証（運転免許証など）
宿舎	宿舎有（家具・家電付、Wi-Fi 環境有）家賃無料 遠山病院まで徒歩 3 分 宿舎の利用を希望しない場合は、1 ヶ月前までに臨床研修センターに連絡ください。 日用雑貨の準備および宿舎退去時の清掃費用として 5,000 円を負担してください。 荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院に電話連絡してから、病院宛に送ってください。
研修期間	原則 4 週または 8 週
研修内容	<p>内科研修</p> <p>地域住民のホームドクターとしてプライマリケア診療を実践するとともに、各医師の専門を活かした診療を行っています。内科疾患全般の初診時の医療面接から鑑別診断、治療の実践、治療効果の判定まで、患者中心の医療の真髄を研修してください。救急医療については市内の 1、2 次救急を担っており、的確な診断、迅速な対応を実地に研修することができます。</p> <p>外科研修</p> <p>腹部消化器外科、肛門外科、乳腺外科を専門としており、内視鏡件数は上下部合わせて年間 8,000 例です。内科と共同して、地域の 1、2 次救急を担っており、急性腹症、外傷の症例を多数経験することができます。外科医として診断から手術まで関わるのはもちろん、当院の特徴として術後長期に渡る診療も担当し、時に終末期医療においても主治医となります。患者さんの人格を尊重し、患者さんと家族の気持ちを理解した全人的医療を研修して欲しいと思います。</p>

## 研修医の感想

外科で研修させて頂きました。主に消化器外科を扱っており、消化器内科志望の私にとっては手術、内視鏡、ERCP など幅広く学ぶことができ、大変ためになりました。当直でも様々な症例が診られます。

大学病院の時よりも自分の判断が求められる事が多く勉強になりました。救急外来で診た患者さんの転院先の選定から関わらせてもらったり、病棟の患者さんの退院後の通院について相談を受けたりと、治療のその先の事まで学ぶ事ができました。

大学病院勤務だけではなかなかできないような体験をすることができました。不明なことや不安なことがあっても、指導医の先生方が必ずアドバイスをしてくださるので学びが多く、安心できました。

## 遠山病院のスタッフより研修医の皆さんへのメッセージ

遠山病院は、気候温暖な三重県津市にある特定医療法人の民間病院です。平成 19 年度から横浜市立大学附属病院の地域医療研修施設として、横浜市立大学臨床研修医の皆さんの受け入れが始まりました。遠山病院は、ベッド数 200 床弱の小規模病院ですが公立の総合病院が三重大学付属病院を含めて 2 病院のみの津市にあって、地域救急医療の大きな役割を担っています。また、日本医療機能評価機構の認定病院であり、内科、外科各学会の研修医修練施設の施設認定も整っています。研修医の皆さんにとって、単に地域保健医療の研修にとどまらず、内科および消化器外科の分野において、多数の Common disease の経験からプライマリ・ケア、さらに専門的な診療まで、これから医師としてのキャリアを積み重ねる中で「根雪」となって残るような研修になってほしいと願っています。研修の 1 ヶ月はすぐに過ぎてしまいます。三重の風物に親しむ時間も含め、どうぞ 2 ヶ月間の研修に来てください。



昭和三十年開設後 60 年以上の長い歴史がある遠山病院



病院東隣にある更衣室棟にある研修医室



個室でじっくりと研修が出来ます。  
パソコン、インターネット環境も  
整備しています。

研修責任者	中 紀文
研修担当者	山田 裕規
事務担当者	西村 綾乃
連絡先	電話 0735-52-1055 E-mail manage01@onsenhsp.jp
住所	〒649-5331 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満 1185 番地 4
アクセス	紀伊勝浦駅より徒歩で 5 分
その他	平成 30 年度より新病院へ移転しております。
研修開始前に 必要な手続き	医師免許証・保険医登録票・履歴書等の写。 研修開始 3 週間前までにご本人から連絡願います。
持参するもの	白衣、印鑑、マイナンバー、口座番号のわかるもの
宿舎	官舎有（費用無償）
研修期間	4 ～ 8 週
研修内容	地域医療総合研修（プレホスピタルから医療・保健・福祉・介護と在宅まで視野に入れた研修です）





病院施設外観



官舎外観

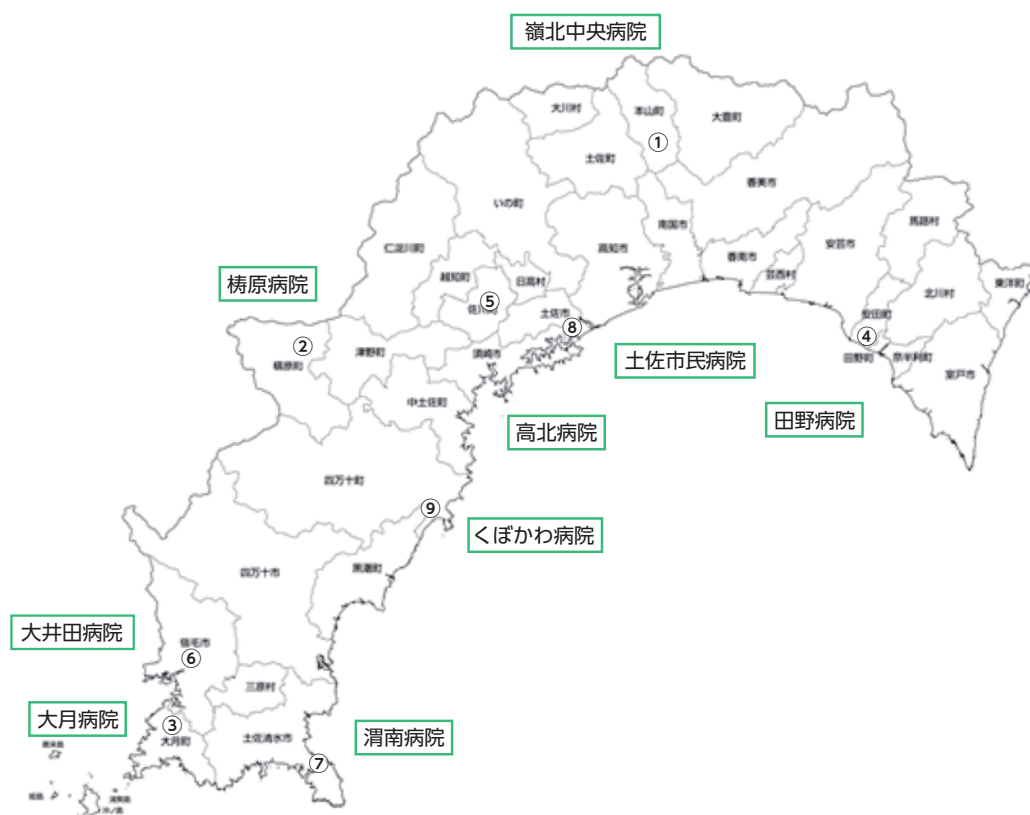


官舎内部

連絡先	電話：088-822-9910 FAX：088-855-5881 一般社団法人高知医療再生機構 医療再生事業部
事務担当者	西 満子
住所	〒780-8570 高知県高知市丸の内 1-2-20 高知県庁本庁舎内

高知医療再生機構（法人）が高知県内の研修病院・施設を統括し、全国の研修医を受け入れています。  
5つの病院のいずれかで1～2ヶ月の研修をしてください。

### 高知県の研修病院



#### ◇嶺北中央病院

国保嶺北中央病院の医師として在籍し、一般外来や各種検査、入院患者や在宅訪問診療などを中心とした研修を受けることが出来ます。当院は、患者数の多い医療機関であり、入院や救急医療、臨床検査のスキルアップなどを中心に学ぶ環境があります。



## ◇基本スケジュール

## 本山町立国保嶺北中央病院

## 第 1 週

	月	火	水	木	金
朝				入院検討会	
午前	オリエンテーション	婦人科外来	内視鏡・エコー・病棟	放射線科実習	泌尿器科外来
午後	透析	病棟・訪問診療	検診報告会（不定期）	NST ミーティング・病棟・ 特別養護老人ホーム・ 養護老人ホーム・ 老健；天空の里	病棟・ リハビリカンファレンス
(時間外)		入退院検討会・抄読会		院内講習会（不定期）	

## 第 2 週

	月	火	水	木	金
朝				入院検討会	
午前	脳神経外科外来	皮膚科外来	内視鏡・エコー・病棟	内視鏡・エコー・病棟	外来診療
午後	病棟・特定健診	病棟	病棟・褥瘡回診・ NST 回診	外来診療	リハビリ
(時間外)		入退院検討会・抄読会			

## 第 3 週

	月	火	水	木	金
朝				入院検討会	
午前	内視鏡・エコー・病棟	外来診療	通所リハビリテーション	内視鏡・エコー・病棟	外来診療
午後	病棟	病棟	病棟	NST ミーティング・ 病棟	病棟・ リハビリカンファレンス
(時間外)		入退院検討会・抄読会			

## 第 4 週

	月	火	水	木	金
朝				入院検討会	
午前	外科外来	整形外科	外来診療	内視鏡・エコー・病棟	内視鏡・エコー・病棟
午後	病棟	糖尿病教室	病棟	検診報告会・講演（不定期）	病棟・統括
(時間外)		入退院検討会・抄読会			



国保嶺北中央病院



## 病院紹介

施設名	本山町立国民健康保険 嶺北中央病院	梶原町国民健康保険 梶原病院	特定医療法人長生会 大井田病院
標榜診療科名	外科、脳神経外科（週1回）、内科、リハビリテーション科、肛門外科、整形外科（週4回）、泌尿器科（週1回）、皮膚科（週1回）、婦人科（週1回）、リウマチ科	内科、小児科（週3回午後）、整形外科（週1回）、眼科（週1回）	内科、胃腸内科、循環器内科、小児科、外科、皮膚科、整形外科、リハビリテーション科
救急室	有	無	有
病床数	99床 （一般55床、療養44床）	30床 （一般病床）	93床 （地域包括50床、療養43床）
年間入院患者数	入院件数 約680名 延入院患者数 約28,000名	入院件数 約500名 延べ入院患者数 約8,000名	入院件数 約595名 延入院患者数 約29,706名
図書室	有	無	無（インターネット環境あり）
常勤医師	2名	1名	7名
非常勤医師	外科、脳神経外科、内科、リハビリテーション科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、リウマチ科	内科、小児科、整形外科、眼科	内科、循環器科、小児科、整形外科、外科、皮膚科
高知市からの時間（車）	車：1時間	車：90分	車：2時間30分、JR：2時間
備考	職員食堂、休憩室、売店など		職員食堂、休憩室、売店など

## 宿舎の概要

	嶺北中央病院医師住宅	病院住宅（梶原病院研修医住宅）	病院職員住宅 （大井田病院むつみ寮）
住所	〒781-3601 高知県長岡郡本山町620	〒785-0612 高知県高岡郡梶原町川西路2314-1	〒788-0001 高知県宿毛市中央4-2-3
間取り	6洋DK、4洋、4洋、バス、トイレ（ウォシュレット付）	6洋、7.5洋DK、バス、トイレ	6洋、4洋DK、バス、トイレ（UB）
設備	IHコンロ、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、カーテン、小テーブル、掃除機、洗濯機、エアコン、デスクトップパソコン、インターネット環境有（Wi-Fi有）	エアコン、IHコンロ、調理器具、食器類、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、小テーブル、ベッド、掃除機、布団、DVDプレイヤー、洗濯機、シャンプー、リンス、ボディソープ、インターネット環境有（PCは持参してください）	IH調理器、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、カーテン、小テーブル、ベッド、掃除機、布団、ブルーレイレコーダー、空気清浄器（加湿付）、洗濯機、シャンプー、リンス、ボディソープ、自転車貸出あり（無料）、自動車（土日のみ）貸出あり（無料）
利便性	病院敷地内	病院敷地内	病院まで徒歩5分
利用料	部屋代は共益費・水道光熱費込で5,000円/月 布団リース代5,000円/月	部屋代は無料・共益費・水道光熱費として5,000円	無料 （光熱費のみ、1か月で5,000円負担）
備考	隣にスーパーマーケット有（19：30閉店）徒歩で10分程度のところに、FamilyMart（銀行ATMあり）直近に郵便局（ゆうちょ）あり。レンタカー屋は隣の大豊町に行けばある。（車で10分）院内職員食堂で食事可能。（1食380円）	徒歩で3分程度のところに、郵便局、銀行、農協あり。徒歩で6分程度のところに、コンビニあり。	最寄駅まで送迎あり

医療法人聖真会 渭南病院	土佐市立 土佐市民病院
外科、消化器外科、脳神経外科、小児科、内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、眼科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、心療内科、リハビリテーション科、麻酔科	内科、消化器内科、循環器内科、腎臓代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、内視鏡外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、人工透析内科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、婦人科、皮膚科、神経・精神科
有（救急処置室）	有
105 床 （一般 20 床、地ケア 30 床、療養 55 床）	150 床 （一般 96 内、地域包括ケア 54 床）
新入院患者数 1,015/ 年 延入院患者数 35,041/ 年	入院実人数 約 1,374 人（2022 年実績） 延入院患者数 33,139 人（2022 年実績）
無	有
5 名	28 人
外科、脳神経外科、呼吸器血液内科、内分泌糖尿病内科、眼科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、心療内科、循環器内科、消化器内科、総合診療科、小児科	内科、外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、小児科、神経・精神科、眼科
車：2 時間 30 分、土佐くろしお鉄道：中村駅から車で 40 分	西部～ 15 分、県庁付近～ 30 分、東部～ 50 分
職員食堂、休憩室、売店	職員食堂、休憩室、売店・食堂

病院契約アパート	土佐市民病院医師住宅
〒787-0332 高知県土佐清水市汐見町23-18 パールビル301号室	〒781-1101 土佐市高岡町甲1771
8 洋 DK、6 洋、6 和、6 和、バス、トイレ	6 洋、6 和（押入）、キッチン、バス、トイレ（温水便座）、バルコニー
テレビ、ブルーレイレコーダー、エアコン、テーブル、イス（4脚）、ソファ、ベッド、洗濯機、掃除道具一式、電子レンジ、布団（予備2組）、空気清浄器、カーテン、掛け時計、電気スタンド、炊飯器、冷蔵庫、室内用物干し台、ドライヤー、電気ケトル、包丁、まな板、片手鍋、フライパン、食器、病院携帯充電器、手洗い石鹸、洗濯用洗剤、食器用洗剤、スポンジ、ウェットティッシュ、指定ゴミ袋、布用消臭剤等。インターネット環境有（PCは持参して下さい）	ガスコンロ、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、オーブントースター、エアコン、掃除機、洗濯機、扇風機、小テーブル、電話機、各室照明、インターネット環境、ガス給湯器、換気扇、集合郵便受け、インターホン、食器類、カーテン、寝具一式、下駄箱
病院まで徒歩5分	病院隣地 職員駐車場の一角
部屋代、共益費は無料、水道光熱費として月5000円	光熱水費・共益費込 5,000円
近隣（徒歩10分以内）にスーパー、ドラッグストアあり。コンビニは徒歩15分程度にあり。郵便局（ゆうちょ）徒歩5分にあり。ご希望があれば病院車（プリウスDAA-ZVW30）をお貸しします（無料）。	土佐市中心街に位置し、徒歩10分圏内に、量販店、コンビニ、ドラッグストア、商店街、飲食店、市役所、保・小・中・高等学校などあり、直近JR駅（伊野駅）まで車で10分程度

## ◇土佐市民病院

土佐市民病院の医師として在籍し、一般外来や各種検査、入院患者の管理などを中心とした研修を行います。当院は、1次2次救急を受け入れる急性期病棟（96床）および地域包括ケア病棟（54床）を有し、多職種が連携して急性期から在宅復帰まで一連の医療を実践しています。地域の医療機関との連携を重視し在宅医療にもつなげています。自施設内に診療科が30科と多く、幅広い研修が可能です。また、150床という中小規模施設であり、各種検査・処置などもフレキシブルな対応が可能であり、希望があれば超音波検査や内視鏡検査なども実習できます。

## ◇医療機関マップ

土佐市は、高知県の中核市である高知市に隣接し、人口2万7千人の地方都市です。「仁淀ブルー」と呼称されるほど美しい水質日本一の清流仁淀川の下流部に位置しています。

交通面に関しては、高速道路のインターチェンジが市内中心部にあり、土佐市独自の公共交通である「ドラゴンバス」が、市内一円から近隣の「JR伊野駅」まで運行されており、市内外を問わずどこに行くにも便利な環境が整っています。産業

では、清流仁淀川の水を活かした製紙業や、温暖な気候・肥沃な土壌を活かした土佐文旦・ユリ・しょうが等に代表される様々な農作物が穫れる環境にあり、露地栽培、ハウス栽培等大変盛んに行われております。また漁業では、太平洋に面した宇佐漁港があり、近年メディアでもよく取り上げられている宇佐のウルメイワシを代表に、土佐節発祥の地として名高い鯉節等、水産加工品の生産も有名です。自然豊かで食べ物や地酒もおいしく、環境面でも大変おすすめの土佐市で一緒に研修をしてみませんか。



## ◇基本スケジュール

へき地医療にある中小自治体病院研修：代表的な中小自治体病院の例として土佐市民病院

(関連する社会福祉施設、介護老人保健施設等の研修を含む)

病床数	150床（急性期病棟 96床 地域包括ケア病棟 54床）
診療科	消化器内科、循環器内科、腎臓代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、内視鏡外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、人工透析内科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、婦人科、皮膚科、神経・精神科、小児科、感染症内科、糖尿病内科、心臓血管外科、小児心療科、救急科、リウマチ科
研修関連施設	特別養護老人ホーム とさの里



## 第1週

	月	火	水	木	金
朝 (8:20 ~ 8:30)		カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
午前		救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療	外来診療 (小児科)	外来診療 (外科)
午後	オリエンテーション	外来診療 (内科)	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療

## 第2週

	月	火	水	木	金
朝 (8:20 ~ 8:30)	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
午前	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療	外来診療 (小児科)	外来診療 (外科)
午後	健診・救急対応 検査・病棟診療	外来診療 (内科)	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療

## 第3週

	月	火	水	木	金
朝 (8:20 ~ 8:30)	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
午前	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療	外来診療 (小児科)	外来診療 (外科)
午後	健診・救急対応 検査・病棟診療	外来診療 (内科)	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療

## 第4週

	月	火	水	木	金
朝 (8:20 ~ 8:30)	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	総括
午前	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療	救急対応・検査 病棟診療	外来診療 (小児科)	
午後	健診・救急対応 検査・病棟診療	外来診療 (内科)	外来診療 (内科)	救急対応・検査 病棟診療 16:30 ~ 勉強会	



土佐市民病院

研修任者	病院長 堤 竜二
研修担当者	副院長 中桶 了太 (nakaoke.agonet@gmail.com)
事務担当者	度島 容子 (takusima@nagasaki-u.ac.jp)
連絡先	長崎大学病院 国境を越えた地域医療支援機構 臨床教育拠点 電話 0950-20-3006 FAX 0950-20-3007 URL <a href="http://hekichi-byoinsaisei.net/">http://hekichi-byoinsaisei.net/</a>
住所	〒 859-5393 長崎県平戸市草積町 1125-12 平戸市民病院内
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎空港から佐世保駅まで乗合タクシーで 55 分</li> <li>・佐世保駅から平戸桟橋までバスで 1 時間 30 分</li> <li>・平戸桟橋から平戸市民病院までバスで 40 分</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;">   <div style="margin-left: 20px;">  <p>平戸川内峠</p>  <p>根獅子の浜</p> </div> </div>
その他	休み：土日祝日 敷地内に宿舎有り（間取：1DK 備品等、ネット完備 PC はご用意ください）
研修開始前に必要な手続き	医師免許証・保険医登録票・履歴書等の写 研修医ご本人より、開始 3 週間前までに事務担当にご連絡ください。
持参するもの	白衣、印鑑（シャチハタ可）、聴診器、病院の名札、スニーカー等へき地を歩きやすい履物
研修期間	原則 4 または 8 週 希望により延長可
特徴あるプログラム	<p>長崎県北部に位置する平戸市の平戸市民病院に教育拠点を設置しています。</p> <p><b>主に学ぶのは慢性期、高齢者、在宅医療、総合診療</b></p> <p>外来では慢性期の疾患管理、急性増悪の対応や合併症予防など疾患のマネジメントを経験します。</p> <p>また、高齢者は複数の疾患の治療を受けており、臓器別専門に加えて個人の既往歴や生活環境に配慮した診療を学びます。自宅で療養中の患者さんを訪問することで、生活環境や家族背景を知り、今後のケアに活かします。このように患者さんに配慮した医療を学ぶことができます。</p> <p><b>地域包括ケア</b></p> <p>保健、福祉と医療が連携し、患者さんを切れ目なく支えていく体制です。</p> <p>平戸市の保健事業と連携し、事業所健診と合わせて予防にも取り組んでいます。</p> <p><b>多職種連携</b></p> <p>病院のスタッフ数は少ないですが、職種を超えた連携や協力体制が充実しています。他の専門職と一緒に仕事を行い、連携の方法や意義について学べます。</p>

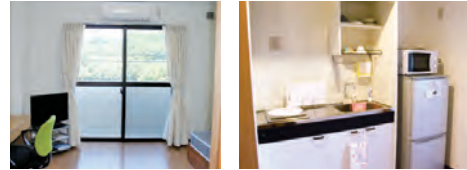
## 施設の紹介

我々の講座は、長崎大学病院の地域医療教育や研修を担当する部門です。活動の場所は大学病院から離れた県北地区の平戸市民病院、いわゆる「へき地」の病院です。平戸市民病院の役割は、地域の数少ない医療機関として外来、入院、夜間休日の救急医療、在宅医療と健診事業、がん検診などの予防医療を担当しています。さらに地域の介護と連携し、地域にお住いの方々が住み慣れた地域や環境で、できるだけ長く生活できるような、地域包括ケアシステムを積極的に展開している地域の病院です。地域医療研修では、これらの役割やスキルをOJTで学ぶことができます。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、ケアマネジャーとの家庭訪問や離島研修、乳幼児健診など、病院外の実習を重視しています。CT、MRIや検査室が設置されており、初診から診断のプロセスをすべて担当することも可能です。指導担当は毎日振り返りを行い、知識やスキルの獲得のサポートを行っています。全国の複数のプログラムから研修医が集まり、いつも和気あいあいとした雰囲気で行っています。

## 施設紹介



病院外観



宿泊部屋

## 医師紹介



堤病院長



有吉機構長



中桶副院長

## 研修スケジュールの例

	月	火	水	木	金
午前	健診（診察・エコー）				
	外科外来	新患・救急	訪問看護	内科外来	新患・救急
午後	病棟回診	訪問診療	新患・救急	訪問診療	病棟等
時間外	フィードバック（1日の振り返り）				

他に放射線科実習、検査科実習、離島研修、ケアマネ訪問、特老回診、毎朝の入院カンファレンス、各種講義があります。

## 研修中の様子



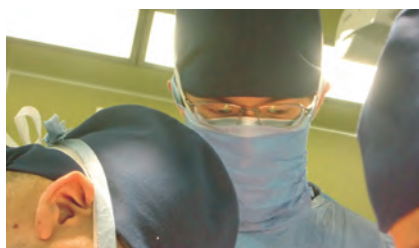
訪問診療



乳児健診



外来の様子



手術助手



小学校健診



健診でのエコー検査



研修責任者	病院長 柿添 圭嗣																																																										
研修担当者	副院長 柿添 三郎																																																										
事務担当者	管理部長 溝口 智之 (mizoguchi@kakizoehospital.or.jp)																																																										
連絡先	電話 0950-23-2151 FAX 0950-22-5131 URL http://www.kakizoehospital.or.jp/																																																										
住所	〒 859-5152 長崎県平戸市鏡川町 278 番地																																																										
アクセス	<p>【博多からのルート】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 新幹線で博多まで → 特急みどりで佐世保</li><li>• 博多駅 高速バスで佐世保</li><li>• 福岡空港 国際線ターミナルから高速バスで佐世保 ※佐世保バスターミナルから在来線半急行で平戸へ（平戸市役所前で下車）</li></ul> <p>• さつき観光株式会社 高速バス 博多 → 平戸 ※詳細はさつき観光サイトにてご確認ください。</p>																																																										
宿舎	有り 費用なし 単身赴任向けの電化製品等完備（TV・冷蔵庫・洗濯機・ベッド・Wi-Fi 環境等）																																																										
研修開始前に必要な手続き	医師免許証、保険医登録票 ※研修医ご本人より、開始 1 週間前までに指導医の柿添由美子に電話でご連絡ください。																																																										
持参するもの	白衣、スクラブ、聴診器、スニーカー、院外研修向けの襟付きシャツ・スラックス																																																										
研修期間	原則 4 週 希望により延長可																																																										
研修内容	<table><tr><td></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr><tr><td>朝</td><td></td><td></td><td>ドーナツ カンファレンス</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">午前</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td><td>包交</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>病棟</td><td>健診</td><td>内視鏡</td><td>健診</td><td></td></tr><tr><td>腹部エコー</td><td></td><td>外来</td><td>腹部エコー</td><td>外来</td><td>外来</td></tr><tr><td rowspan="2">午後</td><td>手術・麻酔</td><td>病棟</td><td>手術・麻酔</td><td>医局会・ 症例検討会</td><td>病棟</td><td></td></tr><tr><td></td><td>外来</td><td></td><td>病棟・外来</td><td>外来</td><td></td></tr><tr><td>夕</td><td></td><td>特養施設回診</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>週 1 回程の当直実習、ドーナツカンファレンス（多職種勉強会）、院内勉強会、カンサーボード、その他、附属中野診療所研修・訪問診療・通所リハビリテーション、特別養護老人ホーム回診、ケアマネ訪問同行、小中高等学校・幼稚園・保育園健診、乳児・1 歳半・3 歳児健診、5 歳児健診、口腔ケア実習、検案等</p>							月	火	水	木	金	土	朝			ドーナツ カンファレンス				午前	包交	包交	包交	包交	包交	包交	内視鏡	病棟	健診	内視鏡	健診		腹部エコー		外来	腹部エコー	外来	外来	午後	手術・麻酔	病棟	手術・麻酔	医局会・ 症例検討会	病棟			外来		病棟・外来	外来		夕		特養施設回診				
	月	火	水	木	金	土																																																					
朝			ドーナツ カンファレンス																																																								
午前	包交	包交	包交	包交	包交	包交																																																					
	内視鏡	病棟	健診	内視鏡	健診																																																						
	腹部エコー		外来	腹部エコー	外来	外来																																																					
午後	手術・麻酔	病棟	手術・麻酔	医局会・ 症例検討会	病棟																																																						
		外来		病棟・外来	外来																																																						
夕		特養施設回診																																																									

## 医師紹介



柿添 圭嗣病院長



柿添 三郎副院長

## 研修中の様子



研修責任者	院長 常光 信正
研修担当者	副院長 山口 健一
事務担当者	総務課 高本 恵
連絡先	電話 0950-57-2152
住所	長崎県平戸市田平町山内免 612-4
アクセス	MRたびら平戸口駅より、徒歩 10 分 平戸口バス停より徒歩 3 分
宿舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家具・家電付（TV、冷蔵庫、洗濯機、ベッド、寝具、電子レンジ、Wi-Fi 環境あり）</li> <li>・食事…病院で希望があれば提供可能</li> <li>・病院までの距離…宿舎① 徒歩 5 分 宿舎② 病院内の研修医室となりますので、0 分</li> </ul>
持参するもの	スクラブ、白衣、印鑑、聴診器
研修期間	原則 4 週
研修内容	<p>病 院 内：入院患者受け持ち 3 名程度          各種処置：気管カニューラ交換、胃ろうチューブ交換等          外来診療、内視鏡、エコー研修          検査、レントゲン、薬剤課、栄養課、医事課、連携室、透析等実習見学</p> <p>施 設 見 学：診療：老健、養護老人ホーム、デイケア、デイサービス等          院 外 診 療：離島診療、訪問診療、訪問リハ、訪問看護          保健所研修</p>



外観



研修担当者 副院長 山口 健一



## Ⅲ-15

## 出水郡医師会広域医療センター (旧阿久根市民病院)

研修責任者	病院長 内匠 拓朗
研修担当者	副院長、外科主任部長 柳 政行
事務担当者	事務部長、人事・企画管理室長 尾上 博美 kikakushitu@akunehp.com
連絡先	電話 0996-73-1331 (代) FAX 0996-73-3708
住所	〒 899-1611 鹿児島県阿久根市赤瀬川 4513
アクセス	<p>鹿児島空港より 空港バスで 2 時間 阿久根駅前下車 徒歩 5 分</p>  
宿舎	<p>アパート有り (4LDK、バス、トイレ、洗面台) (インターネット接続あり) 布団、テレビ、冷蔵庫無料貸し出し。水道光熱費の負担なし。 ※荷物を宅急便で送る場合は、発送前に病院に電話連絡してから病院宛に送ってください。</p>
研修開始前に必要な手続き	特になし
持参するもの	医師免許証コピー、保険医登録票コピー、履歴書、健康保険証、病院の名札、印鑑、聴診器、白衣、研修評価表
研修期間	<p>2 年次の 6 月から 2 月までの 4 ～ 12 週 同時期の受け入れ 1 または 2 名 ※ 1 ヶ月研修の場合は、20 日以上研修できるよう研修の開始・終了日、休日を調整すること。</p>
研修内容	<p>内科・外科・救急 診療科：循環器内科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・麻酔科 消化器病センター (消化器外科、一般外科、消化器内科)・眼科 病床数：222 床 (一般病床) 救急外来を中心に、現場での対応を OJT で研修してください。希望に応じて各科での研修が可能です。 また、外部研修として、長島町鷹巣診療所の獅子島僻地支援診療所への訪問診療に随同、 医師会立第二病院 (療養・介護) の病棟回診への参加もできます。</p>
その他	<p>当院は鹿児島北西部の出水保健医療圏にありますが、地域の中核病院として出水郡 (阿久根市・出水市・長島町) の広域を対象としています。 症例は内科・外科を問わず、軽症から重症まで、初期医療から高度医療まで様々な症例を経験できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車受入件数 1711 台 / 年</li> <li>・手術件数 996 件 / 年</li> <li>・心臓カテーテル検査 81 件 / 年 (PCI 79 件 / 年)</li> </ul> <p>研修期間は、仕事と余暇のメリハリをつけて、鹿児島での生活を満喫してください。</p>

## 研修医の感想

主に救外で初期対応をさせていただきました。形成外科に進むので、縫合の機会多く、創の経過をその後の外来でフォローできたので良い経験になりました。また回らなかった脳外の手術に入らせていただき、良い勉強になりました。どなたも大変親切に教えていただき、楽しく過ごせました。

九州特有の HTLV - 1 感染による ATL の患者さんを診察できたことがとても印象的でした。



### 理 念

当院は、地域医療の中核施設として  
人を大切にし、信頼される医療を目指します。

#### 基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

#### 患者さんの権利と責務

1. だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
2. 人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
3. 医療上の全ての個人情報保護されます。
4. 検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
5. 診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
6. 自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
7. 病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
8. 他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

出水郡医師会広域医療センター

## Ⅲ-16 済生会若草病院

研修責任者	病院長 佐藤 博信
研修担当者	副院長 鈴木 淳一
事務担当者	総務課 小川 光子
連絡先	電話 045-781-8811 E-mail soumu@wakakusa.saiseikai.or.jp
住所	〒236-8653 神奈川県横浜市金沢区平潟町12-1
アクセス	京浜急行電鉄 「金沢八景」下車 徒歩約 15 分 「金沢文庫」下車 徒歩約 20 分 横浜新都市交通シーサイドライン 「野島公園」下車 徒歩約 3 分
宿舎	なし
研修開始前に必要な手続き	初日は 8 時 15 分に病院正面玄関に集合。 ※研修医ご本人より、開始 1 週間前までに総務課 人事担当までお電話ください。
研修期間	4 週間 1 回 1 名
持参するもの	履歴書（写真付き）、医師免許証（写し）、保険医登録票（写し）、白衣、印鑑
研修内容	1. 訪問診療 2. 一般外来 3. その他：産業医活動・女性保護施設見学
病院の概要	【診療科目】 内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、皮膚科、肛門外科、リハビリテーション科、麻酔科 【許可病床数】 一般病床 177 床（地域包括ケア病床 131 床、回復期リハビリテーション病床 46 床）
研修医の感想	在宅医療、外来診療を中心に研修させて頂きました。今まで大学病院でしか勤務をしたことがなかったため新鮮でした。産業医活動にも同行する機会を頂き視野が広がりました。



## Ⅲ-17 宮古島徳洲会病院

研修責任者	院長 兼城 隆雄
研修担当者	院長 兼城 隆雄
事務担当	医局秘書 高里 美香
連絡先	0980-73-1100
住所	〒906-0014 沖縄県宮古島市平良字松原 552-1
アクセス	<p>東京（羽田）より直行便～宮古空港まで約 3 時間  那覇空港～宮古空港まで約 50 分  宮古空港から宮古島徳洲会病院まで車で約 10 分</p> 
宿舎	有り
研修開始前に必要な手続き	ご予約された航空便の御連絡を事前にお願ひします
持参するもの	スクラブ、白衣等
研修期間	原則 2 ヶ月
病院の概要	<p>【診療科目】  内科・外科・整形外科・泌尿器科・脳神経外科・皮膚科・心臓血管外科・呼吸器科・胸部外科・循環器内科・放射線科・リハビリテーション科、消化器外科・乳腺外科</p> <p>【許可病床数】  一般病床…99 床</p>





## Ⅲ-18 横浜市寿町健康福祉交流センター診療所

研修責任者	診療所長 安藤 高志
研修担当者	横浜市立大学医学部 准教授 医師 金子 惇
事務担当	診療所事務課長 井上 弘毅
連絡先	電話 045-662-0503 E-mail kanekom@yokohama-cu.ac.jp/hiro-inoue@yokohama-kotobuki.or.jp
住所	〒231-0026 神奈川県横浜市中区寿町 4-14
アクセス	JR 京浜東北根岸線「石川町駅」下車 徒歩 10 分 横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町駅」下車 徒歩 12 分
宿舎	なし
持参するもの	白衣もしくはスクラブ、医師免許証（写）、保険医登録票（写）
研修内容	一般外来、患者相談、疾病予防、地域医療・福祉連携
病院の概要	<p>先の太平洋戦争（1941～1945）で焼失した横浜市域において、戦後の復興期における接收解除を受け、国際港都を目指す横浜を支えた日雇いによる港湾労働者の受け入れのため簡易宿泊所のまちとして形づくられた横浜市寿地区は、現在、高齢の生活保護受給者を中心とする福祉を必要とするまちへと変化しています。</p> <p>昭和 54 年（1974）、地域の強い要望に応え設置された当診療所（現：横浜市寿町健康福祉交流センター診療所）は、時々の景気に左右される地域の生活者に対して福祉と医療の連携の視点を持ち、患者の生活全般に寄り添った医療を提供してきました。</p> <p>都市部に存在する経済格差、健康格差に向き合いながら、すべてのスタッフが総合的な視点から医療提供に取り組んでいます。</p> <p>【診療科目】内科、精神科</p>
研修医の感想	<p>「寿町の診療所が行政や福祉と物理的にもシステムのにも密接に連携しており、ロールモデルの一つとなるべき医療システムであることを学んだ」</p> <p>「見るものすべてが新鮮で病院の研修とは違う視点から医療を学ばせてもらった」</p> <p>「ここから見たものすべてが印象に残った」</p>



横浜市寿町健康福祉交流センター外観  
(診療所は2階です)



診療所入り口



待合室

令和 5 年 7 月 20 日  
筑波大学医学医療系講師  
小曽根早知子先生が当診療所を  
見学にいらした際のレポートです。



当診療所医師でもある金子惇  
先生が実施している、都市部の  
プライマリ・ケアを体験する  
研修プログラムのために制作  
されたガイドブックの紹介です。



	病院名	①土日・祝日の勤務	②土日・祝日に勤務した場合の取扱い	③宿日直の有無	④宿日直手当の金額	⑤超過勤務の有無
1	横浜市総合保健医療センター	なし	—	なし	—	なし
2	横浜掖済会病院	なし	—	なし	—	なし
3	湘南中央病院	なし	—	あり	10,000 円／1 回	なし
4	湘南ホスピタル	なし	—	なし	—	なし
5	三浦市立病院	なし	—	あり	病院規程による手当	なし
6	富良野協会病院	あり (土曜月 2 回)	特になし	あり	30,000 円／1 回	なし
7	松前町立松前病院	なし	—	なし (希望があれば要相談)	手当なし	なし
8	公立相馬総合病院	なし	—	要相談	要相談	なし
9	遠山病院※	あり (土曜第 2・4 週)	なし	あり	日直 20,000 円／1 回 当直 25,000 円／1 回	あり
10	那智勝浦町立温泉病院	なし	—	あり	15,000 円／1 回	なし
11	高知県 病院群 (共通)	なし	—	なし	—	なし
12	平戸市民病院	なし	—	平日宿直あり	10,000 円／1 日	なし
13	柿添病院	あり (土曜午前中のみ 月 2 回程度)	特になし	平日宿直あり	10,000 円／1 回	あり
14	青洲会病院	なし	特になし	あり	10,000 円／1 回	なし
15	出水郡医師会広域医療センター	なし	—	あり	平日：15,000 円 ／1 回 土日祝日：20,000 円 ／1 回	なし
16	済生会若草病院	なし	—	なし	—	なし
17	宮古島徳洲会病院	あり	別日に休みを付与	あり	日直 1 回 5,000 円 当直 1 回 10,000 円	なし
18	横浜市寿町 健康福祉交流センター診療所	なし	—	なし	—	なし

※遠山病院に関する補足説明

1 ヶ月あたり宿日直 3 回 (平日輪番日夜間・日曜輪番日夜間)。希望により輪番日以外の当直もあり。  
日曜に勤務した場合は、前日土曜に休みを付与。





